



**問** リクエスト型交通ってなんだ

津市コミュニティバスは、令和3年度に現在の運行が始まり、以後、各地域で地域公共交通あり方検討会を開催して市民等の意見を聴くほか、美杉・安濃・津地域でデマンド型交通の実証実験を実施するなどし、再編に向けた検討を続けてきた。令和7年11月17日に令和8年4月以降の再編案が発表されたが、その中にあるリクエスト型交通とはどのようなものなのか。

**答** 事前予約を受けたルートを行  
 ける交通システムである

リクエスト型交通とは、一般的にデマンド型交通と呼ばれる交通システムで、事前予約により運行する特徴を持ち、運行方式や運行ダイヤ、発着地の自由な組み合わせにより多様な運行が存在するが、津市では自由経路ミーティングポイント型という、運行ルートは定めずにミーティングポイント（バス停留所）を最短経路で結ぶ方式での運行を予定している。

なお、事前予約は電話やスマホアプリからの受け付けを検討しており、配車にはAIを活用し、予約が成立した時点で利用者に乗降時間を伝えるシステムの導入を予定している。

その他の質疑・質問

- 議案第123号 津市立学校設置条例の一部の改正について
- 白山地域の小学校の統合について
- 今後の課題にどう対応していくのか
- スクールバスについて

▶ 令和8年3月31日をもって廃止される栗葉幼稚園



**問** 新規就農者の確保に向けた津市の取り組みを問う

私たちが生活していく上で、この国の農業、津市の農業は、将来にわたり必要不可欠な産業であると認識しているが、2025年農林業センサスの速報値によると、基幹的農業従事者数は5年前から約25%減少している。新規就農者を確保していくためには、農業に魅力を感じてもらえるような取り組みが必要と考えるが、新規就農に係る支援については、どのような取り組みを行っているのか。

**答** 国庫補助事業の伴走支援と独自の補助事業を実施している

津市では、国庫補助事業を活用し、新規就農者に対して月額12万5,000円を最大3年間交付する「経営開始資金」および就農直後に必要な機械・施設の導入等に対して最大750万円の支援を行う「経営発展支援事業」を実施し、これらの補助事業要望時に必要となる計画策定や目標達成に向けた伴走支援を行っている。

また、独自の補助事業として、新規就農者を対象に管理機等の導入を支援する「小規模機械導入支援事業補助金」や担い手等による人材雇用を支援する「経営基盤強化支援事業補助金」などを交付することで、担い手確保に取り組んでいる。

その他の質疑・質問

- 中小企業の支援、起業・創業支援の状況は
- 津市道路啓開計画について
- 日常の管理と緊急輸送道路の整備の状況は
- 津市地域公共交通計画（案）について
- バリアフリーの位置付けと鉄道駅の取り組みは
- 自転車の交通ルール改正について
- 市民への周知啓発と児童生徒への指導は

▶ この優良な農地を次世代へ継承していくためにも、就農支援は大切な取り組みである

